

連合岩手「政策・制度要求と提言」（北上市）

1 労働者施策について

- (1) 中小企業や地場産業の育成を図り、雇用の創設、拡大を図るとともに、雇用の安定、労働環境・労働者福祉の改善整備に努めること。

市では、企業誘致に加えて、地元中小企業の技術力、経営力強化への支援を図っており、厚みのある地元中小企業支援を行ってまいりました。

管内の雇用情勢については、正社員有効求人倍率が1倍超で推移しており、安定的な雇用の場は整いつつあるものの、人手不足を背景とした労働環境の悪化も懸念される所であり、引き続き様々な雇用労働施策を通して多様で安定的な雇用・労働環境の整備に努めてまいります。

- (2) 最低賃金の改正（2019年10月4日から790円）に関する地元企業への周知を図るとともに、国等による中小企業に対する助成制度など支援策についても地元商工団体等と連携し、周知徹底を図ること。

国の各種助成制度についても積極的な活用により雇用の安定や職場環境の改善が図られるよう、関係機関と連携し周知に努めます。また、最低賃金についても市の広報やホームページを通し周知徹底を図ってまいります。

- (3) 国、県では産業振興、福祉・保健・医療等に関する各種審議会に労働者代表を参加させているので、北上市においても労働者の声を市政に反映させるため、各種審議会等に（継続して）労働者代表を参加させること。

市総合計画の策定及び推進に関して審議する「北上市基本構想等審議会」の委員選任にあたり、貴協議会から委員を推薦いただき、委嘱しております。今後も他自治体の状況を参考にしながら、労働団体を含む幅広い分野から委員を選任し、意見を伺ってまいります。

- (4) 自治体職場、学校職場等における働き方改革を推進し、長時間労働、サービス残業等の是正を図るとともに、いわゆる給特法の抜本的見直しを国に働きかけること。

働き方改革を推進することで、労働時間の適正管理に努めます。また、給特法に関しては、教育現場の実態や近隣自治体の動向も踏まえ、必要に応じて対応してまいります。

- (5) 自治体職場における「会計年度任用職員」移行が、本人の意思に反しての雇止め、賃金労働条件の改悪や行政サービスの低下になることがないように、当事者や労働組合と十分協議すること。

会計年度任用職員への移行が、労働条件や行政サービスの低下になることがないように、労働組合と十分に協議してまいります。

- (6) 教職員の長時間労働是正に向けて、勤務時間管理の適正化をはかるとともに、安全衛生委員会の設置・開催等、労働安全衛生体制の整備を徹底すること。

市では平成 30 年度から小中学校へタイムカードを導入し、在校時間を把握することにより勤務時間の管理に努めております。また、労働安全衛生体制の整備については、学校単位で安全衛生委員会を設置しているほか、教育委員会において包括的な衛生委員会を設置し、職場環境の整備と職員の安全及び健康の確保に努めているところです。今後も適正な勤務時間管理及び労働安全衛生体制の確保に努めてまいります。

- (7) 東北労働金庫は、県内の多くの自治体と「自治体等提携融資制度」（協調倍率制度）を創設し、労働者への低利な融資を行うことにより生活の安定と福祉向上を図っているが、融資種類の拡大や住民への周知を図ること。

市では、勤労者への低利な融資により生活の安定を図るため、現在勤労者生活安定資金融資（融資上限：100 万円）を実施しております。融資種類の拡大については現時点で予定しておりませんが、引き続き広報・ホームページ等で制度の周知を図ります。

- (8) 外国人労働者についての実態調査、企業の導入計画、生活支援体制、相談窓口の開設や拡充を図ること。

改正出入国管理法により新たに創設された在留資格「特定技能」の県内における在留外国人はまだおりませんが、人手不足を背景に外国人労働者の受入れはさらに広がっていくものと考えております。

こうした状況をふまえ、今年 3 月に市内事業者へアンケート調査を実施したところであり、調査結果や国の動きを的確にとらえ、支援の充実を図ってまいります。

2 社会福祉、保健医療の拡充について

- (1) 生活困窮者対策については、自治体によって実施方法・内容に差があるが、任意事業である就労準備支援・一時生活支援・家計相談支援・学習支援の各事業を積極的に実施するよう体制を強化すること。

市では法律の施行当初から自立相談支援事業、就労準備支援事業と家計相談支援事業（現在、家計改善支援事業）を同一事業所に委託して実施しており、引き続き一体性及び連続性を持った支援に努めてまいります。また、平成30年度からは、子どもの学習支援事業を実施しており、ニーズの把握に努めながら、実施場所の追加等の検討をしてまいります。

「一時生活支援事業」は、現在当市では実施しておりませんが、対象者がいた場合は、速やかに生活保護に繋ぐ等の対応をしており、今後も対象者が必要な支援が受けられるよう努めてまいります。

- (2) 子どもの貧困対策、ひとり親家庭への支援については、児童福祉担当課、教育委員会、生活困窮者対策部門、母子保健担当課等が連携して取り組むよう体制を強化するとともに、当事者の意見等が施策に反映されるよう配慮すること。

市では、子どもの生活実態を適切に把握するため、平成29年度に子どもとその家庭に対し「北上市子どもの生活実態調査」を実施し、昨年度、調査結果の報告書をまとめたところです。今年度は、報告書で示された課題に対し、その課題を解消するため「北上市子どもの貧困対策推進会議」を設置し、部局横断で既存事業の拡充や新たな事業の創出などを検討しております。この検討結果を踏まえ、子どもの貧困やひとり親の支援に関する総合的かつきめ細やかな対策につなげてまいります。

- (3) いわゆる「子ども食堂」を実施する団体等に対する支援を強化するとともに、実施を検討する団体等に適切な助言等を行うこと。

市では、子ども食堂等の「子どもの居場所づくり」を実施する団体に対し、新規開設費用や、事業拡充に必要な費用についての補助を行っています。今後も円滑に子どもの居場所づくり事業が継続して実施されるよう、必要な支援を検討してまいります。

また、今後、新たに実施を検討している団体に対しては、社会福祉協議会と連携し適切な助言等を行うよう努めてまいります。

- (4) 改正児童福祉法で市町村の役割とされた子育て世代包括支援センター、子ども家庭総合支援拠点の整備、要保護児童対策地域協議会への専門職員の配置等、児童虐待防止対策、子どもを守る体制を強化すること。

要保護児童及び要保護児童対策地域協議会の業務に社会福祉士を加えて対応しており、合わせて、要保護児童対策地域協議会調整担当者研修を受講するなど体制強化に努めております。また、新北上市健康管理センター整備に併せ、子育て世代包括支援センター及び子ども家庭総合支援拠点を設置し、関係機関と連携を図り、要保護児童等への支援体制を強

化してまいります。

- (5) 地元で適切な医療が受けられるよう、特にも皮膚科については病院数が少なくいつも混んでいることから、皮膚科の増設推進及び医師確保に努めること。

医師確保については、岩手県全体の課題でもあることから、岩手県や岩手医科大学、岩手県国民健康保険団体連合会等と連携して、「市町村医師養成事業」の医学生奨学金の取組みを継続してまいります。一方、診療科を特定しての医師確保等に関しては現在のところ具体的な対策はなく、医療圏域内の病院等を通じて医師確保の働きかけを行ってまいります。

- (6) 人材難が叫ばれている医療・介護・保育関係職員の処遇改善、勤務環境の改善を図るため、処遇改善加算等制度の活用を事業者にも周知徹底すること。

これまで、事業所への説明会や個別相談等を通じて周知しておりますが、現時点では未活用の事業所もあることから、各事業所における処遇改善加算に基づく取組みが更に進むよう、引き続き制度の活用促進に努めてまいります。

- (7) 共働きで且つ祝日に働く家庭も少なくないことから、祝日の預かり保育について（小学生低学年の学童保育も含め）検討すること。

祝日の保育ニーズが高まっていることは認識しておりますが、現在、祝日に開所している4か所の施設（小規模保育事業所、事業所内保育事業所、学童保育所）が、保育士や放課後児童支援員の確保が困難であることから、来年度より1か所のみ開所となる見通しです。

保育関係職員の確保を喫緊の課題として取組み、保育サービスの充実につながるよう努めます。

- (8) 食品ロス（フードロス）が全国的に叫ばれていることから、自治体としても食品ロスが無くなる様アピールをするとともに、フードドライブ（食品回収運動）についても関係団体と共に取組みを推進すること。

社会福祉協議会が生活に困窮している世帯に対して行っているフードドライブ、フードバンク事業の実施に今後も協力してまいります。

- (9) 外国人労働者帯同児童の就学状況とその支援体制の拡充を図ること。

市では、すべての外国人児童生徒の学ぶ機会を保障するため、公立の小中学校へ就学させる希望がある対象児童生徒に対して、通訳支援等を通して、就学支援を行っております。また、現時点で把握している対象者は13名ですが、そのうち通訳支援を行っているのは3名となっています。今後の対象者数の増加を見据え、適応支援教室等の設置を含め対策を検討してまいります。

3 教育の拡充について

- (1) 教育の機会均等を保障する観点から、大学などの高等教育を対象とした「給付型奨学金」「無利子奨学金」について創設、適用条件等の拡大を図ること。

給付型奨学金につきましては、国の施策として日本学生支援機構が貸与する奨学金制度において実施されています。

市の奨学金につきましては、他の奨学金制度併用もでき、貸付元金のみの返還で無利子となっております。給付型奨学金は国の施策によることを基本とし、若年層の定住化を目的とした返還金減免制度を継続してまいります。

- (2) 学校配分予算について、運営に十分な予算措置か学校の意見を十分に踏まえて検証と対策を行うこと。

また、学校徴収金について、学校配分予算が少ないことにより、受益者負担分との曖昧な部分を保護者負担にさせることのないよう、機会均等や水準確保の観点からも、各学校で差がでないようにガイドライン等を示し、必要に応じて十分な予算措置を行うこと。

予算編成に当たっては、学校の意見を踏まえ配当予算の確保に努めております。今後もよりよい学校運営及び学習環境の整備のため、必要な教育予算の確保に努めてまいります。

- (3) いじめや貧困、虐待の問題に的確に対応するため養護教諭、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーを増員すること。

いじめや貧困、虐待の問題に的確に対応するため、養護教諭、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを増員することの有効性については認識しております。

大規模校における養護教諭の複数配置は、岩手県教育委員会へ要望を続けております。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーについても、現在の派遣時間数を増加できるよう当該委員会に対し要望してまいります。

- (4) スラックラインやボルダリングと言った新スポーツが根付き始めている事から、スポーツ活動推進の為、これら市内スポーツ団体への支援や施設の拡充を図ること。

スラックラインやボルダリングなどの新スポーツについては、競技の普及状況や施設の利用状況を見ながら、必要に応じて検討していきます。

- (5) 学童保育施設や教育施設における猛暑対策として、普通教室以外においても早期にエアコンの設置を行うこと。

今年度、小中学校 18 校の普通教室にエアコンを設置しており、残る学校もリース方式のエアコン設置を実施するため、来年度以降の予算編成において検討しています。

学童保育施設を含め、普通教室以外の保健室や特別支援学級等への設置も必要と認識しており、早期設置に努めてまいります。

4 安心、安全、持続可能なまちづくりについて

- (1) 震災からの復興について、被災者市内定住者の心のケア等今後も必要な支援を国・県とともに継続すること。

東日本大震災の被災者に対する各種支援につきましては、今後も国や県の動向を踏まえて検討してまいります。

- (2) 防災・減災対策を一層拡充し、住民に周知すること。

現在最大浸水想定でのハザードマップの更新作業を行っており、令和2年1月に完成予定です。その後2月に全戸配布を行うほか、北上川沿いの地区を中心に年度内に説明会を行い、住民への周知を進めます。

- (3) 公共交通の維持に向けて、事業者に対し必要な支援を行うこと。

市では、あじさい都市きたかみ公共交通網形成計画に基づき、地域拠点と都市拠点をつなぐ拠点間交通及び地域内の拠点までの交通手段となる地域内交通の充実に向けた取り組みを行っています。それに取り組む事業者に対して、必要な支援を行ってまいります。

- (4) 国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)を市政に反映させること。

市では、人口減少時代にあっても持続的に発展する「あじさい都市」の実現を目指して、各種施策を推進しており、その取り組みは、SDGsに掲げる目標やターゲットと重なるものが多いと捉えております。現在、次期総合計画の策定作業を進めており、策定に当たっては、各施策とSDGsとの関係性が明確となるよう基本計画の中で関連付けてまいります。

- (5) 信号待ちや歩行している児童の列に自動車が突っ込む痛ましい事故があることから、通学路等児童が多く利用する歩道について、危険個所の確認及び周知とその安全対策、併せて見通しの悪い交差点へはカーブミラー設置を関係機関へ要請すること。

市では、毎年通学路における交通安全上の危険箇所について、各小中学校から情報提供いただき、その情報に基づき通学路合同点検を学校職員、警察、道路管理者を交えて行っております。点検結果については、北上市交通安全対策協議会交通安全施設改善検討部会において関係機関での情報共有を図っております。

なお、本年度9月に登下校時の児童生徒の集合場所等の点検も実施しております。点検の結果、対策を講じる必要がある個所については、その対応を検討してまいります。

また、カーブミラーの設置等を始めとした安全対策設備についても、必要な個所を北上市交通安全対策協議会交通安全施設改善検討部会において協議の上、関係機関へ設置を要望してまいります。

- (6) 学生が部活などで夜間の帰宅となる場合がある事から、通学路を優先し街灯整備に対する必要予算の拡充を図ること。

街路灯は、条例により原則自治会等で設置することとなっております。

市では、自治会等がLED街路灯を設置する際に補助金を交付しております。工事費の4分の3という高い割合での補助であり、多数の自治会等でご活用いただいております。

- (7) 4号線「中大堰川」歩行者用押しボタン信号のインターバル時間が短く、近くに有る「北上工業団地口」信号との同期もない事から時間帯によっては渋滞の原因となっているので、改善する様関係機関へ要請すること。

関係機関（警察）に対して現状確認を含め要請してまいります。

- (8) 高齢者の免許返納での施策だけではなく、車を必要とする人への施策として、急発進抑制装置等の安全装置を、既存車に取り付ける際の費用の一部を自治体も補助すること。

高齢者ドライバーの痛ましい事故を防止するため、独自の急発進抑制防止用安全運転装置の補助制度の創設を早急に検討してまいります。

- (9) 熊の出没など危険生物の発生情報が拡散されない状況が見受けられることから、危険な害獣情報は市のHPやSNS等でタイムリーに配信すること。

市では、平成29年度から岩手県が配信する「いわてモバイルメール」の中に「クマ出没情報」コンテンツを設け、市民からの通報がある都度、情報を発信しております。現在の登録者数は1,596名（R01.10末時点）となっており、メールの登録については、市のホームページや広報で周知しているほか、毎年4月に市内全ての幼稚園、保育園、小中学校あてにメール登録のチラシを配布しております。

また、毎週金曜日に出没状況をホームページで更新しておりますので、今後も、市民への周知を図りながら、一層注意喚起を行ってまいります。

- (10) 県内でも犬・猫の殺処分している現状を踏まえ、市民への適正飼養についての啓発と、これら保護・里親への譲渡等、活動している団体への支援をすること。

犬や猫の不適正な飼い方について、市に情報が寄せられた際は、中部保健所職員（獣医師）と同行し状況確認及び指導を行っています。また、今後も引き続き、定期的に広報による啓発を行うこととします。

現在、市内にはペットの保護や譲渡を行う動物愛護団体があり、市の施設を利用し譲渡会が定期的開催されておりますので、譲渡会を利用したペットとの出会いもあることを周知し、譲渡の促進を図ってまいります。

- (11) 災害時におけるペットの救護対策ガイドライン（環境省）に沿って、災害時の同行避難を推進し、この際の受け入れ体制についても整備・検討を進めること。

現在、避難所開設を行う市職員と交流センター職員用に作成している「北上市避難所開設運営マニュアル」の修正作業を行っており、ペットの受け入れ体制についてマニュアル整備を進めております。

- (12) 災害時十分な避難所を確保する事と併せ、誰でもが判る様な避難場所表示を行うこと。

避難所につきましては、現在指定している避難所《震災時 72 箇所（うち第 1 次避難所 17 箇所）、風水害時 51 箇所（うち第 1 次避難所 17 箇所）》で確保できていると考えております。また、現在すべての避難所に看板を設置しているところではありますが、避難所開設時に誰でも判るような表示について、検討してまいります。

5 ハラスメント対策等について

- (1) 自治体職場はもとよりあらゆる職場でパワハラ、セクハラ等のハラスメントの防止、性的指向・性自認（SOGI）に関する偏見に基づく言動の払拭のための対策を強化すること。

市では、誰もが多様性を認め合い、いきいきと自分らしく暮らせる地域社会の実現を目指す、「北上市男女共同参画と多様性社会を推進する条例」を平成 31 年 4 月に施行しました。当該条例の理念を実現するため、市民の理解促進に繋がる取組みを行ってまいります。

また、自治体職場である北上市として、引き続きハラスメントなどの防止に向け、取組みを継続してまいります。

- (2) 相談対応にあたる自治体職員、各種相談員、教職員、民生児童委員等に、セクハラやDV、児童虐待、LGBTや性的指向・性自認（SOGI）に関する理解を深めるための研修や最新の情報提供を行うこと。

相談対応にあたる自治体職員、各種相談員、教職員、民生児童委員等につきましては、関係機関等が実施する研修会へ積極的に参加し理解を深めるとともに、最新情報の提供・共有に引き続き努めてまいります。

なお、本年は庁内職員向け（一般職員向け・幹部職員向け）に、性的指向・性自認（SOGI）に関する理解を深めるための研修を行っております。